

(様式1)

学校番号 (小・**中** 009)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (追分小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

学校運営について理解し、学校教育の現状について意見を出し合うことを通して、学校支援活動の具体的な取組について積極的に話し合い、地域と学校の連携を「深化」させる。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ **ア** よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

校長から学校教育目標やキャリア教育を核として伸ばしたい力の説明が丁寧で分かりやすいものであり、運営の課題を踏まえながら各委員が率直な意見をいろいろな視点から発言し、よりよい方向を目指そうとする熟議ができた。その一方、ここをこうすればもっと良くなるといった具体的な改善点の意見が少なかった。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ **ア** よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校・家庭・地域の役割分担や連携など授業参観や学校からの説明を通して成果・課題が出され、委員間で活発な意見交換・熟議ができた。支援活動の実践例を写真で紹介され、地域と学校との連携の「深化」を感じた。少子化の中で、将来、地域住民がどのように学校に関わっていくのか等、具体的な話し合いがあるとよい熟議になる。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った **イ** 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

ホームページやブログ等を通して、地域の学習素材や人材を生かした授業、学校支援活動の様子、運営協議会の資料や議事録などの新しい情報を発信することができた。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

学校運営協議会での熟議の結果等を、より地域や家庭、教職員に理解してもらい、相互協力がより高まるよう、具体的な話し合いを行っていく。